

【地方創生加速化交付金事業】

事業名	観光による地方創生戦略構築事業			
事業費	36,656,000円			
事業目的	観光産業の創生による「しごと創生」、交流人口の増、一次産業の活性化、地元雇用の促進等により定住人口の維持・増加を図っていく。			
事業概要	津久見市版観光DMO機能の構築を前提とした、平成29年度から5年間の「津久見市観光戦略」の策定を基本業務とし、並行して、着地型観光の推進、イルカ繁殖・イルカ介在療法の研究、2億4千万年前の「宇宙塵」の研究、石灰石鉱山・セメント工場などの産業観光の推進等の特色あるモデル事業を実施し、観光戦略に反映させる。また、観光戦略の審議及び次年度以降の取組の検証を行うため、多様な関係者の参画のもと「津久見市観光戦略会議」を設置するとともに、モデル事業の推進のため、専門家・学識経験者等を招へいする。			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	基準値 (H27年3月)	事業終了時 目標値(H29年3月)	数年後 目標値(H32年3月)
	観光入込者数	289,000人	350,000人	500,000人
	観光関連産業の創業・企業件数	— 件	1件	5件
	食観光の売上金額	25,000千円	28,000千円	40,000千円
これまでの 事業実績	【観光による地方創生戦略の構築】 ●津久見市観光戦略会議の設置 ●観光による地方創生戦略策定業務委託料 【観光による地方創生戦略に反映させるモデル事業】 ●観光地域づくり等の専門家・学識経験者、地質学者等を招へいした、モデル事業等への助言提言 ●着地型旅行商品の造成、情報発信機能の充実等 ●大分県、大学、全国の水族館等と連携したイルカ繁殖、イルカ介在療法等の研究 実施主体：津久見市→大学等と連携した民間事業者 ●地質学者、民間事業者等と連携した、地質遺産、石灰石・セメント産業等の研究、セミナー開催、教材製作等 ●大学等と連携したまちなか賑わい創出 ●県下自治体等との伝統芸能・文化交流			
今後の方向性 ・課題	本年3月に「津久見市観光戦略」を策定する予定であり、今後は、観光戦略に基づいた事業を積極的に推進していくこととする。その中でも、市庁舎の建設計画と密接に関連する「集客交流拠点整備」、産業観光などの新たな体験プログラム等の造成、そして、それらを総合的に推進していく体制構築などが特に重要であり、国・県・商工会議所・観光協会・各種団体等の多様な連携を図り計画的に推進していく。			